全体会報告

会場 カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)







<受付付近>

<大会要項表紙>

<全体会場入り口>

次 第 8:00 受付開始

8:40 東北ブロック大会

9:05 歓迎アトラクション

9:40 全体会開会

10:35 感謝状贈呈・大会旗引き継ぎ

10:39 次期開催地PR

10:55 記念講演

12:15 大会宣言

12:25 大会閉会

歓迎アトラクション

・伊達武将隊 奥州・仙台おもてなし集団による演舞とトーク

・さんさ時雨 坂東 寿正 (芸名) の舞 「正調さんさ時雨」を後世に継承

・仙台すずめ踊り 慶長8年(1603)、仙台城移従式(新築移転の儀式)の宴席、即興的に披露された踊りにはじまるとい

われている。はねるように踊る姿が、すずめに似ていたことや、伊達家の家紋「竹に雀」にちなんで「す

ずめ踊り」呼ばれるようになった。

感謝状贈呈 仙台市PTA協議会へ日本PTA全国協議会より感謝状贈呈

仙台市PTAから日本PTAへ、そして新潟県・新潟市PTAへ大会旗を引き継ぐ

次期開催地PR 新潟県・新潟市によるPR (ビデオ、関係者によるアピール)

記念講演

- ◇ 演 題「オリンピックへの挑戦」~家族の絆で掴んだ父娘メダル~
- ◇ 講 師 三宅宏実(娘)氏・三宅義行(父)氏(ウエイトリフティング選手・監督)
- ◇ 講演内容(文責:池田)
 - ・選手監督として
 - (娘) 中3の時、ウエイトリフティングをやりたいと父や家族にいった。
 - (父) 2つの約束をした。途中であきらめないこと。やるからには、オリンピックで金メダルを取ろう。
 - (娘) 試合が一つの目標ステップ。それを繋げてオリンピックへと取り組んでいる。人の支えに本当 に感謝している。
 - (父) 監督(私) は、ただのおじいちゃんです。選手に練習を継続させることが大切。練習が全て。 毎日話す。聴く。会話が大事。大丈夫、心配せんでいい。見てくれていると感じさせること。 監督が満足するのではない。選手が一番。褒めて伸ばす。言葉が大事。
 - 父娘として
 - (娘) 今は、自分のことでめいっぱいかな。家族に目がいっていないかもしれません。
 - (父) 親子で大切にしてきなのは、挨拶くらいかな。他のお子さんにも、こちら(大人)から「ありがとう」とか話しかけていくと、そのうち相手からも言葉が返ってくるようになる。コミュニケーションが大切で、親が子に寄り添うことを心がけるとよいのではないか。

(親子の関係づくりに参考になるお話しだと感じました。池田)

以下の大会宣言が、満場一致で採択されました。

大会宣言

私たちは「つながろうPTA!子どもたちの輝く未来のために」~杜の都発! みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに~のスローガンの もと、緑あふれる杜の都仙台に全国のPTA会員が集い、第65回日本PTA 全国研究大会仙台大会を開催しました。

平成23年3月11日の東日本大震災は、私たちに深い悲しみと厳しい試練をもたらしました。しかし、その中で私たち、そして子どもたちは互いに助け合う 共助の心を学びました。また、全国の方々からのご支援によって、心のつながりを実感し、被災地では感謝の心が育まれました。今、仙台そして東北は復興への道を皆で助け合って歩んでいます。

一方で、現在の子どもたちを取り巻く環境は、社会情勢の変化や情報化社会の急速な進化により様々な課題が発生しています。中でもいじめや自死の問題は直面する緊急の課題です。

私たちには、子どもたちのかけがえのない大切ないのちを何としても守らなければならない責任があります。

この研究大会では、PTAがつながりながら、国の宝である子どもたちを見守り、輝く未来に向かう子どもたちの健やかな成長を支えるため、いま私たちができること、成すべきことをともに学ぶことができました。

今こそPTAが手を取り合い、家庭・学校・地域がともに子どもたちを守り、そして健全な育成を推進していくことをここに宣言し、次の通り決議します。

決議

- 一、家庭・学校・地域とともに歩むPTA活動を推進します。
- 一、子どもたちの健康で豊かな心を育むPTA活動を推進します。
- 一、災害への備えや被災地支援を考えるPTA活動を推進します。
- 一、自他を愛する心を育てるPTA活動を推進します。
- 一、子どもたちの大切ないのちを守るPTA活動を推進します。

私たちは、自ら学び、互いの交流を深めながら研鑚を重ねていくことを 実践していきます。

> 平成29年8月26日 第65回日本 PTA 全国研究大会仙台大会